

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M232W302		家族看護学 (Family Nursing)					統合分野									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択	1	3	医学部看護学科	後期	水3,水4	日本語			単独							
担当教員	氏名 江藤千晴・幸松美智子 E-mail etou-chiha@oita-u.ac.jp 内線 5076															
授業の概要	家族を看護の対象として捉え、家族のセルフケア機能を高めるために必要な家族看護の基本的な考え方や支援方法を学び、家族看護の実践に向けた基盤を培う															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	日本における家族の位置づけや役割、諸問題を、家族の歴史の変遷・種々の学問領域における家族の捉えから理解し説明できる															
目標2	日本文化の中で育まれた自己の中にある家族観を洞察し、その在り様や家族看護の実践に与える影響について述べる事ができる															
目標3	諸理論を通じて、健康上の課題を抱えた家族成員が家族全体及び個々の家族成員に与える影響と、家族看護の在り方を説明できる															
目標4	家族看護の深化の過程と課題を知るとともに、家族看護学の更なる発展に看護専門職としての寄与を考え、その方策を説明できる															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							4		2	2	1	1				
授業の内容																
1	家族とは何か・日本における家族の位置づけや歴史の変遷・現代家族が抱える問題															
2	家族とは何か・日本における家族の位置づけや歴史の変遷・現代家族が抱える問題															
3	家族看護とは何か・家族看護学の諸理論・家族に関わる看護職の基本的姿勢や技術															
4	家族看護とは何か・家族看護学の諸理論・家族に関わる看護職の基本的姿勢や技術															
5	家族への看護援助(理論の理解)															
6	家族への看護援助(理論の理解)															
7	家族への看護援助の実際、多職種との連携を考える(理論を用いて事例を分析する)															
8	家族看護学の展望															
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラ	A:知識の定着・確認	A:リアクションレポート、課題レポート				工 夫 そ の 他 の	・講義の展開に事例課題を用い、学生が意見を述べる機会を設ける									
イ	B:意見の表現・交換	B:発問、グループ検討														
ン	C:応用志向	C:グループによる事例検討・発表														
テ	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	講義前の予習(次回の学習内容)を個人でレポートにまとめる(文献検討や教科書、参考資料の熟読とまとめ)(8h)。														
	事後学修	授業で学習した内容に関連したリアクションレポーを用いて、授業の復習をする(8h)。														
	想定時間合計	16														
教科書	鈴木和子他:家族看護学 理論と実践 日本看護協会出版会、2019年第5版ISBN978-4-8180-2208-9															
参考書	野嶋佐由美他:家族看護選書 第一巻 家族看護の基本的な考え方 日本看護協会出版会、2012年ISBN9784818016712 山崎あけみ他:家族看護学 臨床場面と事例から考える 改訂第3版 南江堂、2022ISBN9784524229291															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	リクシヨソレポート	40%										
	グループ検討、発表	30%										
	課題レポート	30%										
注意事項	講義で配布されるアクションレポートは次週の講義前までに提出する											
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務経験	幸松美智子（看護師）江藤千晴（看護師・助産師）											
実務経験を いかした教 育内容	臨床で良く遭遇する家族看護の課題を事例に、理論や知見の用い方、看護の提供の仕方等を講義で押さえる											